



静岡市静岡医師会健診センターの現状と 2040年問題への取り組み



静岡市静岡医師会健診センター
所長 水谷暢秀

第31回全国医師会共同利用施設総会

令和7年8月30日 高崎芸術劇場



静岡市の人口と静岡市静岡医師会



人口(令和7年4月現在)
静岡市 67万258人

旧静岡市

(葵区 24万3275人)
駿河区 20万5049人)

静岡市静岡医師会

会員数 817人
開業医 320人



静岡市静岡医師会健診センターの歴史

- | | |
|----------|---|
| 昭和38年7月 | 静岡市医師会附属臨床検査センターとして業務を開始 |
| 昭和43年5月 | 集配自動車購入 |
| 昭和44年5月 | 胃集団検診協議会発足 |
| 昭和45年3月 | 胃集団検診車購入 |
| 昭和53年11月 | 自動分析装置購入 |
| 昭和55年6月 | 胸部X線検診車購入 |
| 平成元年6月 | 医師会館別館落成 CT設置
健診チームを編成し、会員から依頼された事業所健診の代行を開始 |
| 平成元年11月 | 臨床検査センターの将来像検討委員会設置 |

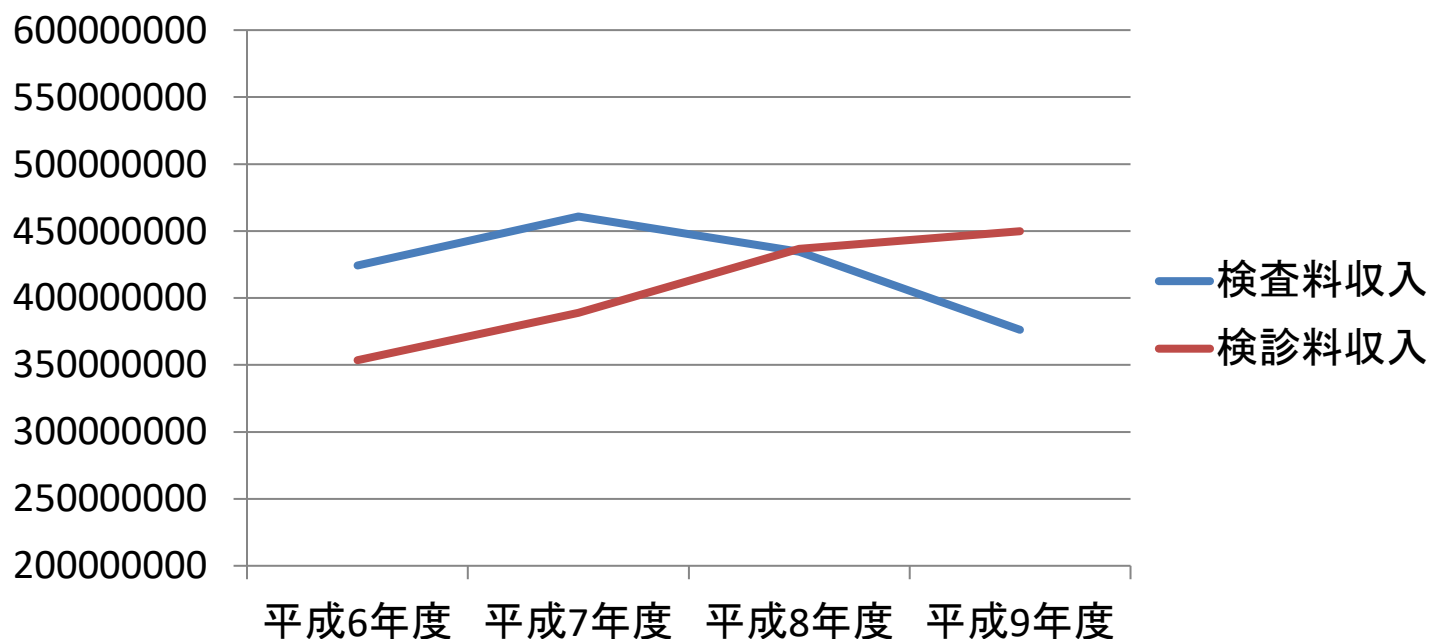


静岡市静岡医師会健診センターの歴史

平成7年7月 新静岡センタービル7階に
医師会健診センターMEDIOを開設

平成10年3月 検体検査部門を廃止し、民間業者に委託

臨床検査センター 平成6年度～平成9年度 収入推移





静岡市静岡医師会健診センターの歴史

平成12年4月

医師会館別館にMRI設置

平成14年9月

静岡市医師会健診センターに名称変更

平成15年4月

静岡市と清水市の合併に伴い名称を
静岡市静岡医師会健診センターに変更

平成21年1月

新静岡センタービル改築に伴いMEDIOを
稲葉ビルに移転

平成22年10月

新医師会館落成 1階にCT・MRI設置

平成26年4月

MEDIO 呉服町タワー2階に移転

平成28年4月

MRI更新

令和4年6月

呉服町タワー1階にMEDIO TERRACE設置

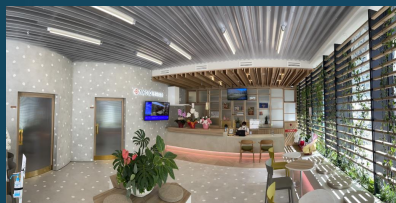


静岡市静岡医師会健診センター

MEDIO

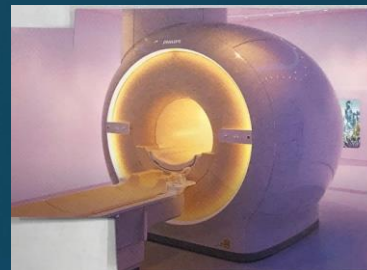


呉服町タワー
(静岡駅徒歩10分)



MEDIO
TERRACE

CT・MRI 東草深

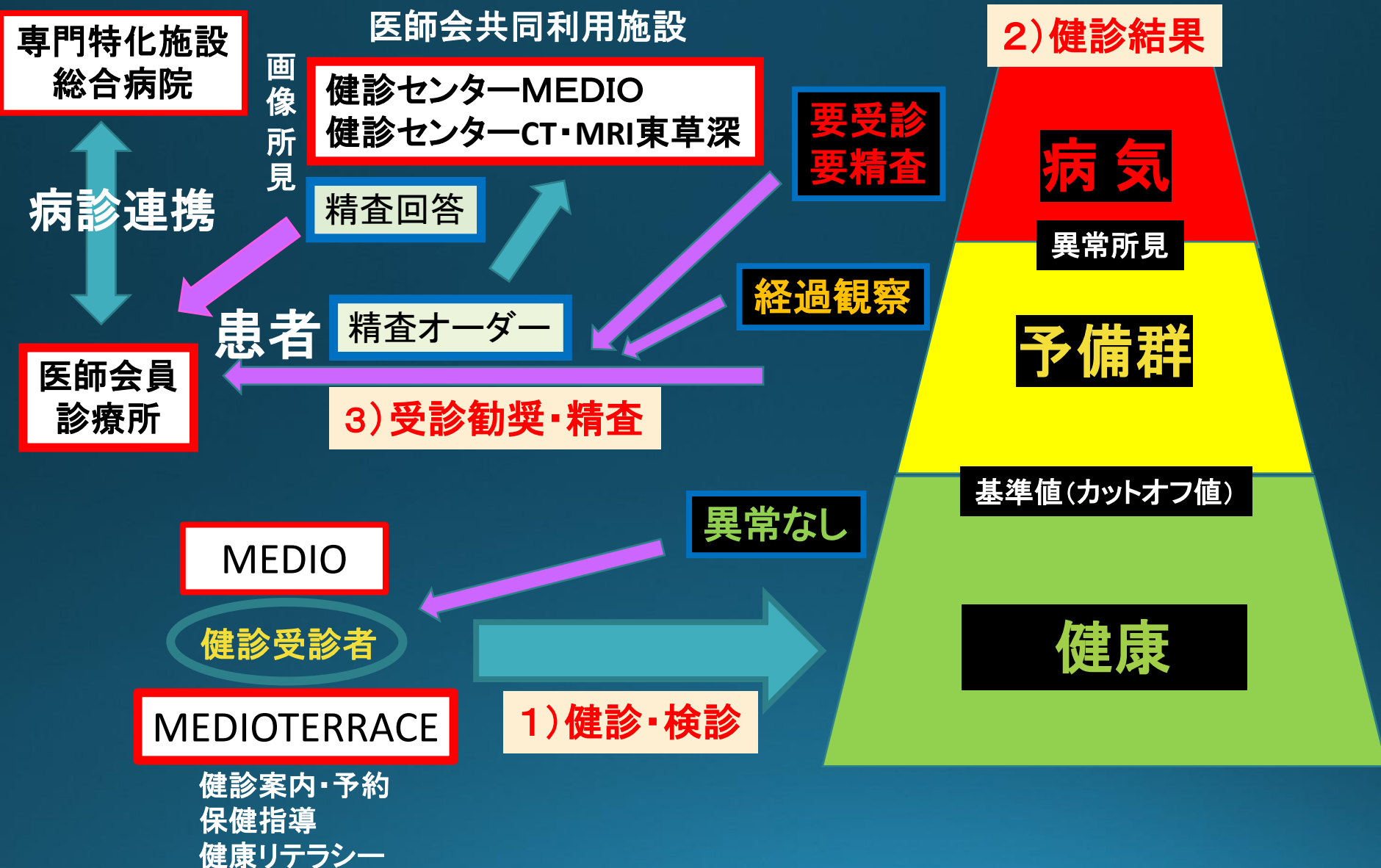


静岡市静岡医師会





医師会共同利用施設としての役割





共同利用施設としての現状

依頼のある検査

CT・MRI

マンモグラフィー

腹部エコー

心エコー

Holter心電図

負荷心電図 (Treadmill)

心電図

胸部レントゲン

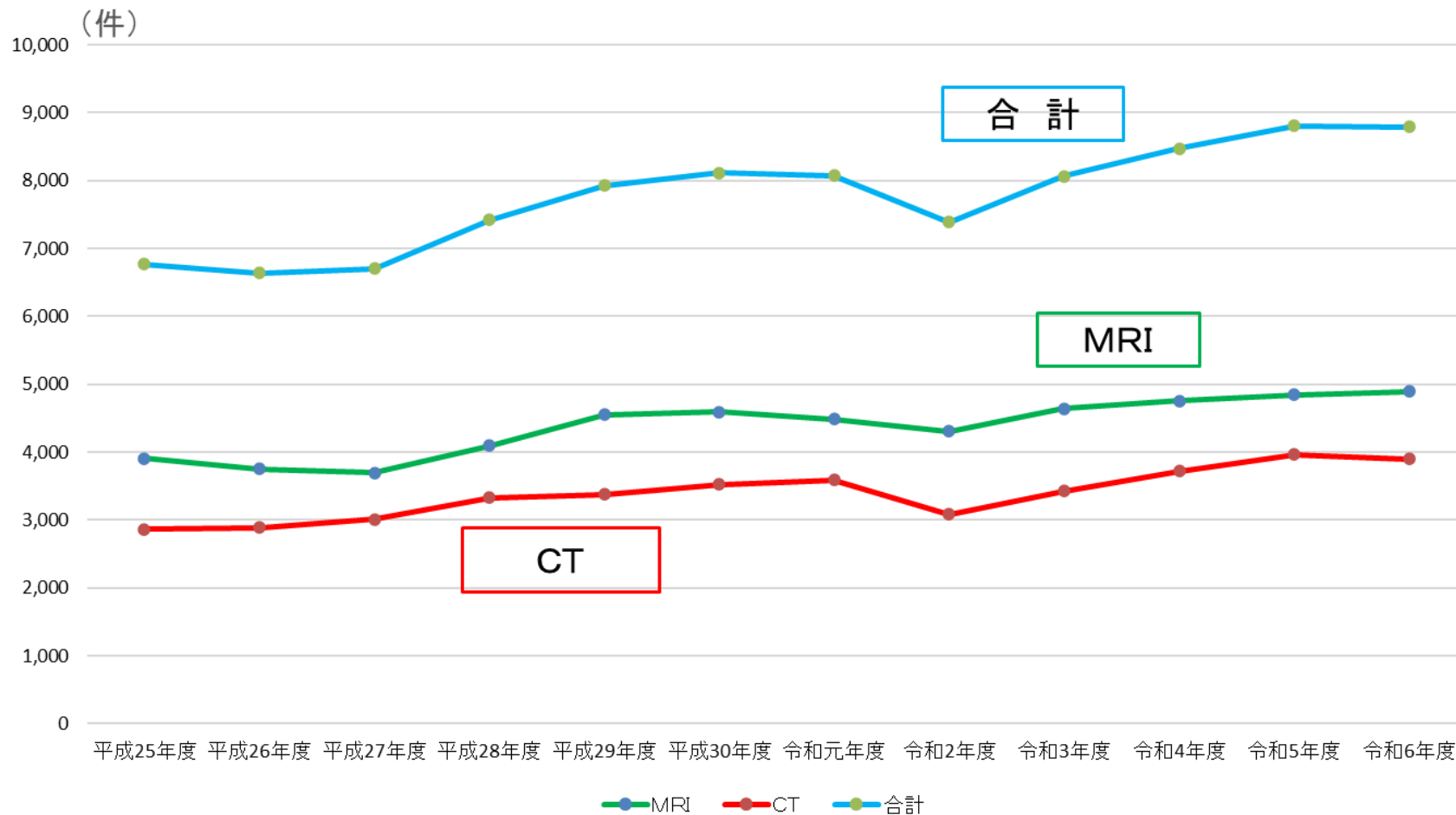
聴力検査

} 循環器内科の医師が欠員となり休止

令和2年より中止



CT・MRIの利用状況





MEDIO TERRACEの活用

①健診の案内や相談・予約

健診項目の説明、健診方法の案内、予約

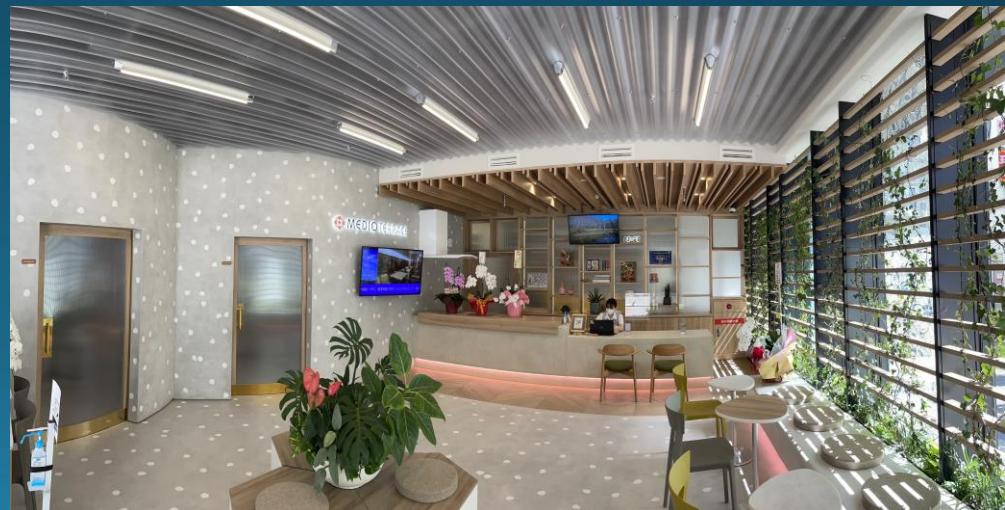
②健診後の保健指導

カウンセリングルームで、対象となった受診者に
保健師、管理栄養士が保健指導を行う。

③近隣の会員診療所の紹介

④健康ミニ講座の開催

- ・健康講座（3回/年）
MEDIO主催
- ・お街ゼミなーる（毎年10月）





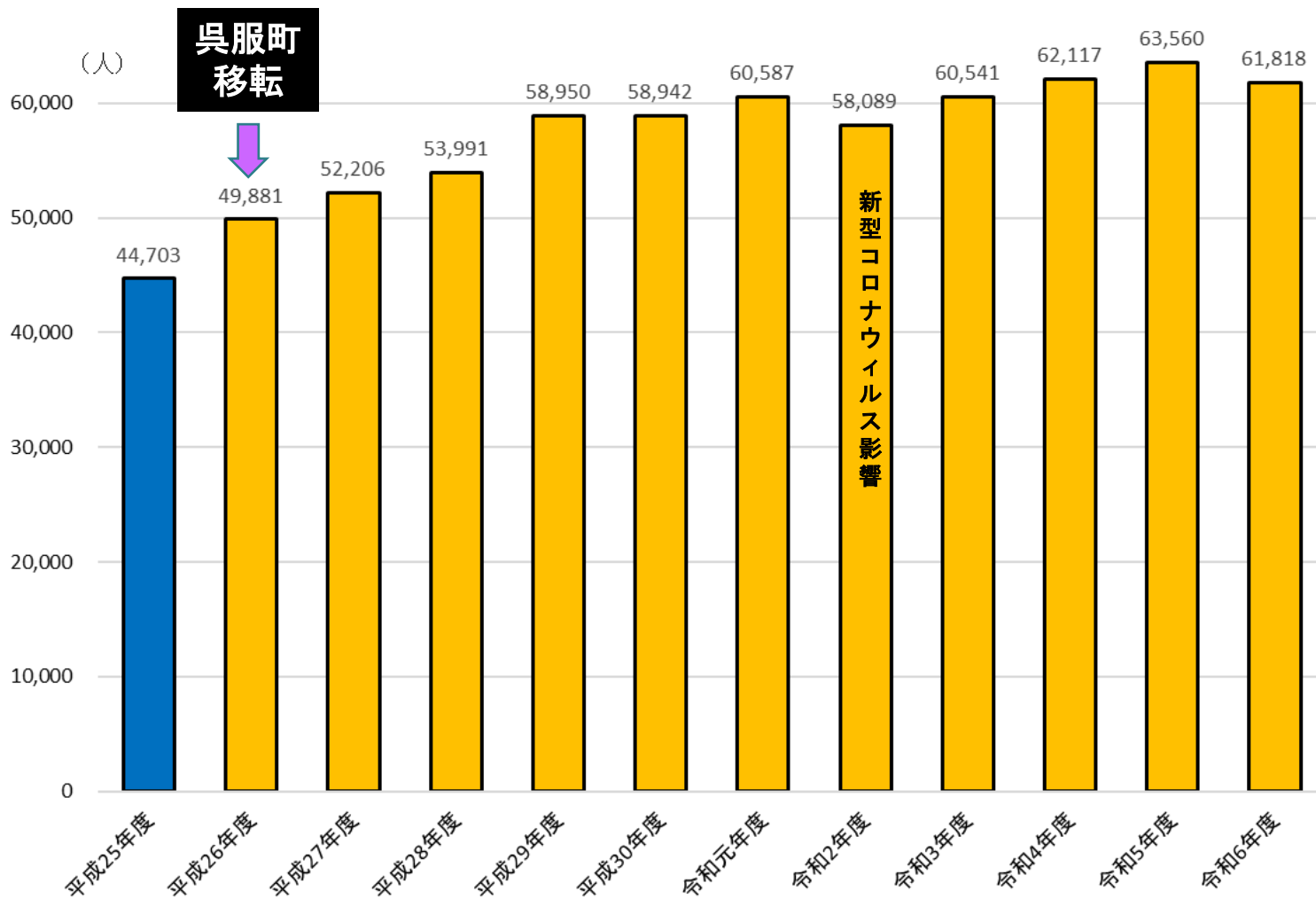
MEDIO TERRACEの活用

健康ミニ講座：健康講座（3回/年） & お街ゼミな～る（毎年10月）

	主催	テーマ	タイトル	演者
令和4年10月29日(土)	呉服町名店街 「お街ゼミな～る」	筋力アップ	「体組成計を測って筋力アップ体操」	千原幸司センター長
令和5年4月15日(土)	MEDIO（医師会）	血圧	「おうちで血圧をはかろう！」 なぜ血圧測定が大切なのか知っていますか？	鎚木敏志所長
令和5年7月15日(土)	MEDIO（医師会）	筋トレ、 ストレッチ	「筋肉を作ろう！維持しよう！」 筋トレとストレッチ	鈴木健司副所長
令和5年10月21日(土)	呉服町名店街 「お街ゼミな～る」	栄養食	「もりもり！子供も喜ぶ簡単レシピ」 管理栄養士が実演	MEDIO職員
令和6年2月17日(土)	MEDIO（医師会）	感染症	『感染症につよくなる！』 「感染症に強い個人、集団、社会を目指そう！」	鈴木研一郎会長
令和6年7月20日(土)	MEDIO（医師会）	乳がん	『乳がん』女性のための健康ミーティング 「この機会に直接、医師に質問してみませんか」	野田祥代医師
令和6年10月5日(土)	呉服町名店街 「お街ゼミな～る」	骨盤	『あなたの骨盤大丈夫!?かんたん！家でもできる 骨盤体操!!』	MEDIO職員
令和7年2月22日(土)	MEDIO（医師会）	肩甲骨	『姿勢改善！肩甲骨体操!!』 「可動域を広げ肩こり解消 首すっきり」	MEDIO職員
令和7年7月26日(土)	MEDIO（医師会）	頭痛	『その頭痛、我慢していませんか？』 「最新の頭痛治療と正しい対処法」	水谷暢秀所長



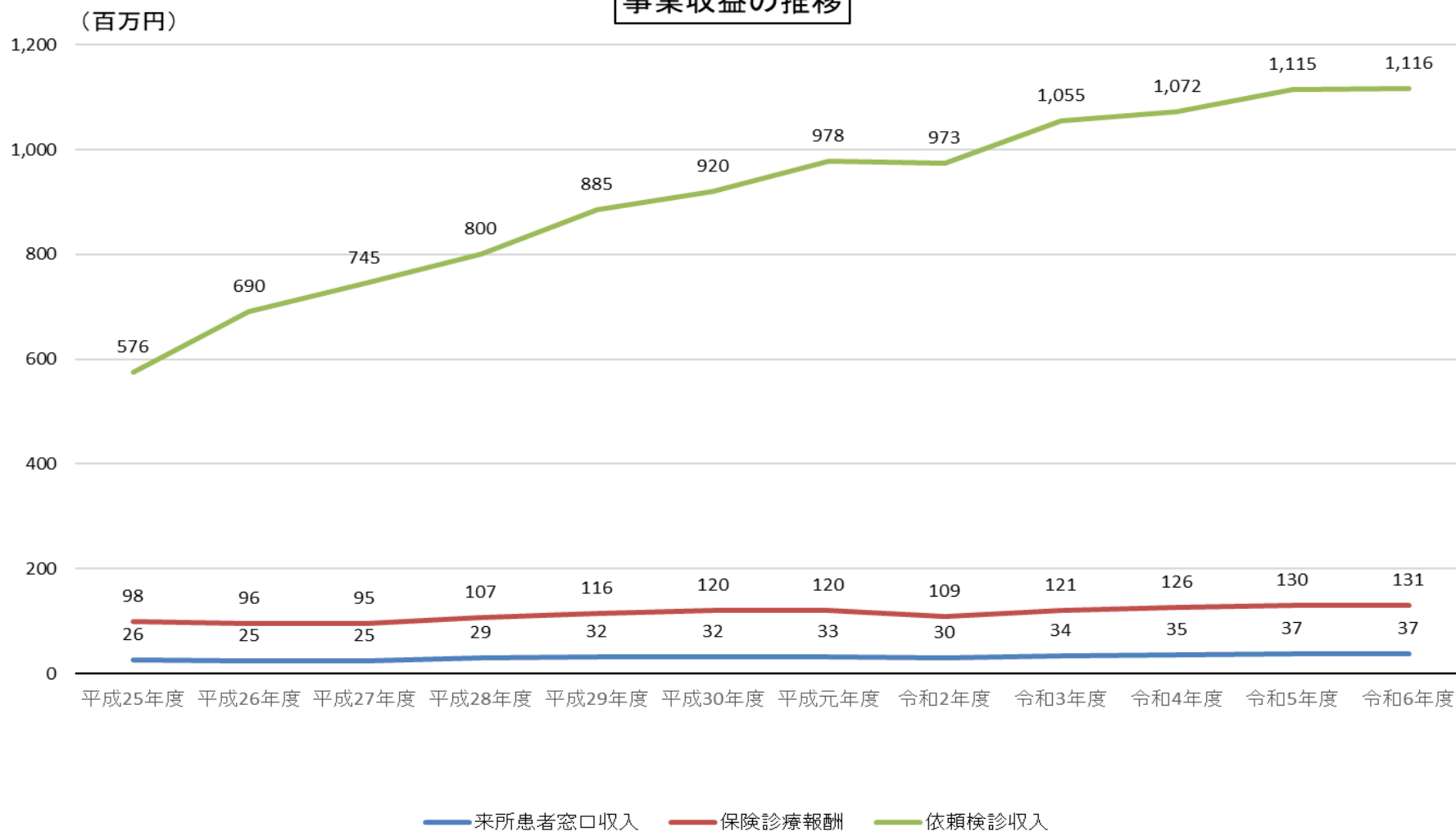
健診センター受診者数の推移 (平成25年度～令和6年度)





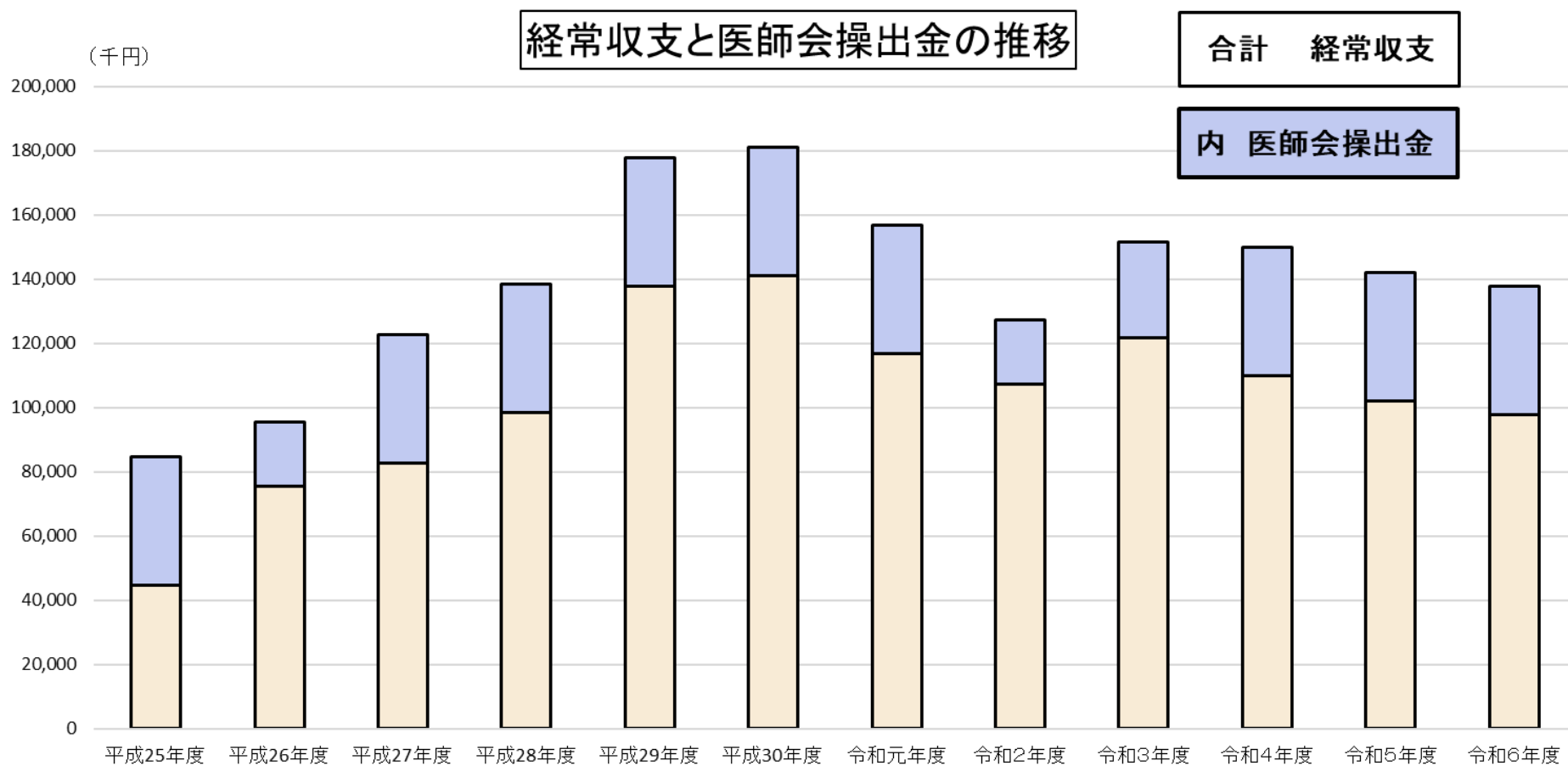
事業収益の推移

事業収益の推移





経常収支と医師会拠出金の推移





健診センター現状のまとめ

①医師会員への貢献(1)

健診結果の異常所見などから受診者の健康リスクを早期に発見し病気に至る手前で、医師会員診療所への紹介につなげる。

②医師会員への貢献(2)

医師会員からの依頼により、患者のCT,MRI検査などを実施し診断に必要なデータを提供する。

③医師会への貢献

健診センターの利益の一部は医師会が行う公益事業の財源となって、地域の保健衛生活動に還元している。

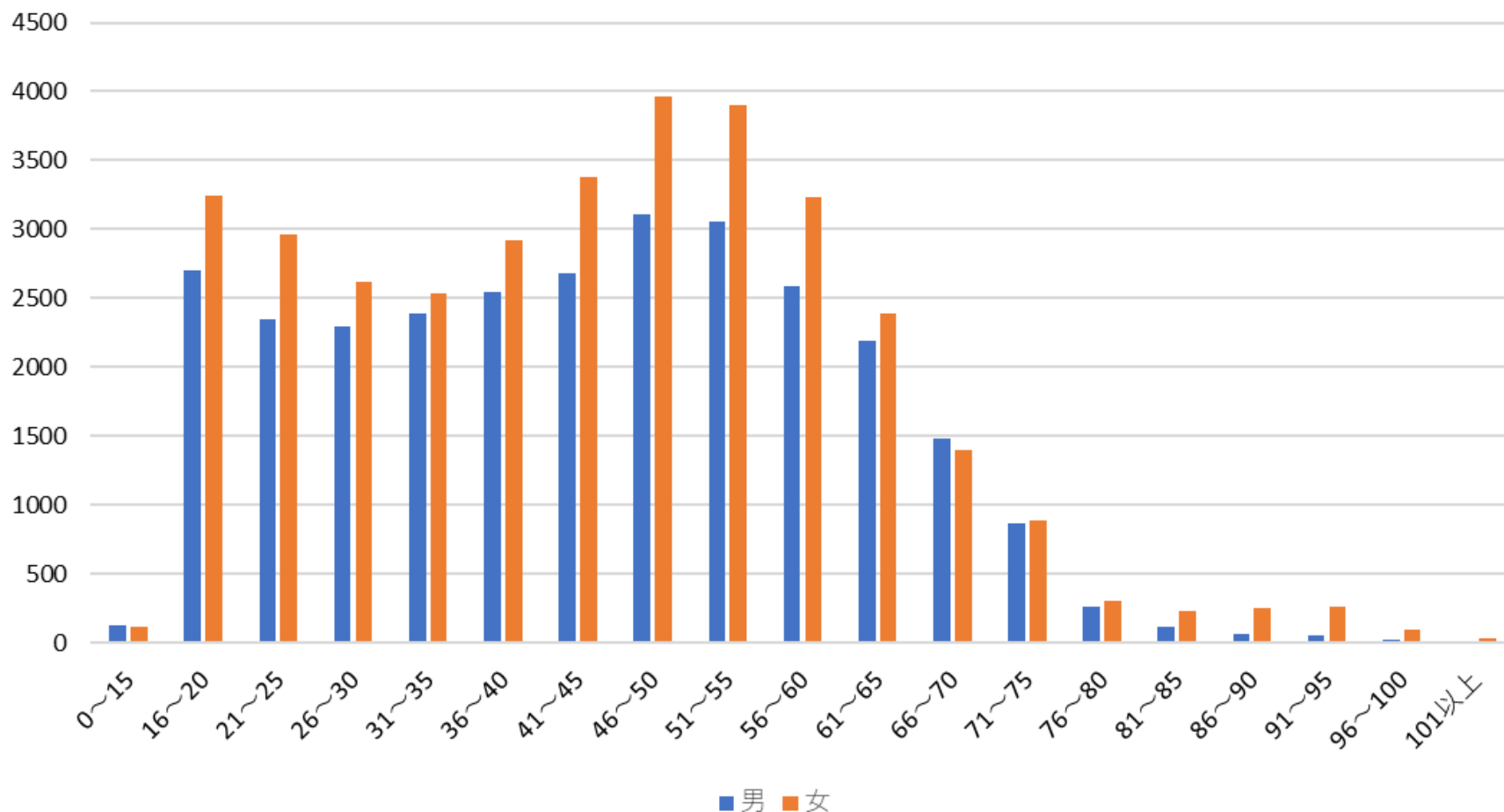
④地域貢献

健康維持・増進のため、住民向けに医師等による「健康ミニ講座」などのプログラムを実施している。



静岡市静岡医師会健診センターの 年齢区分による受診者数(全体)

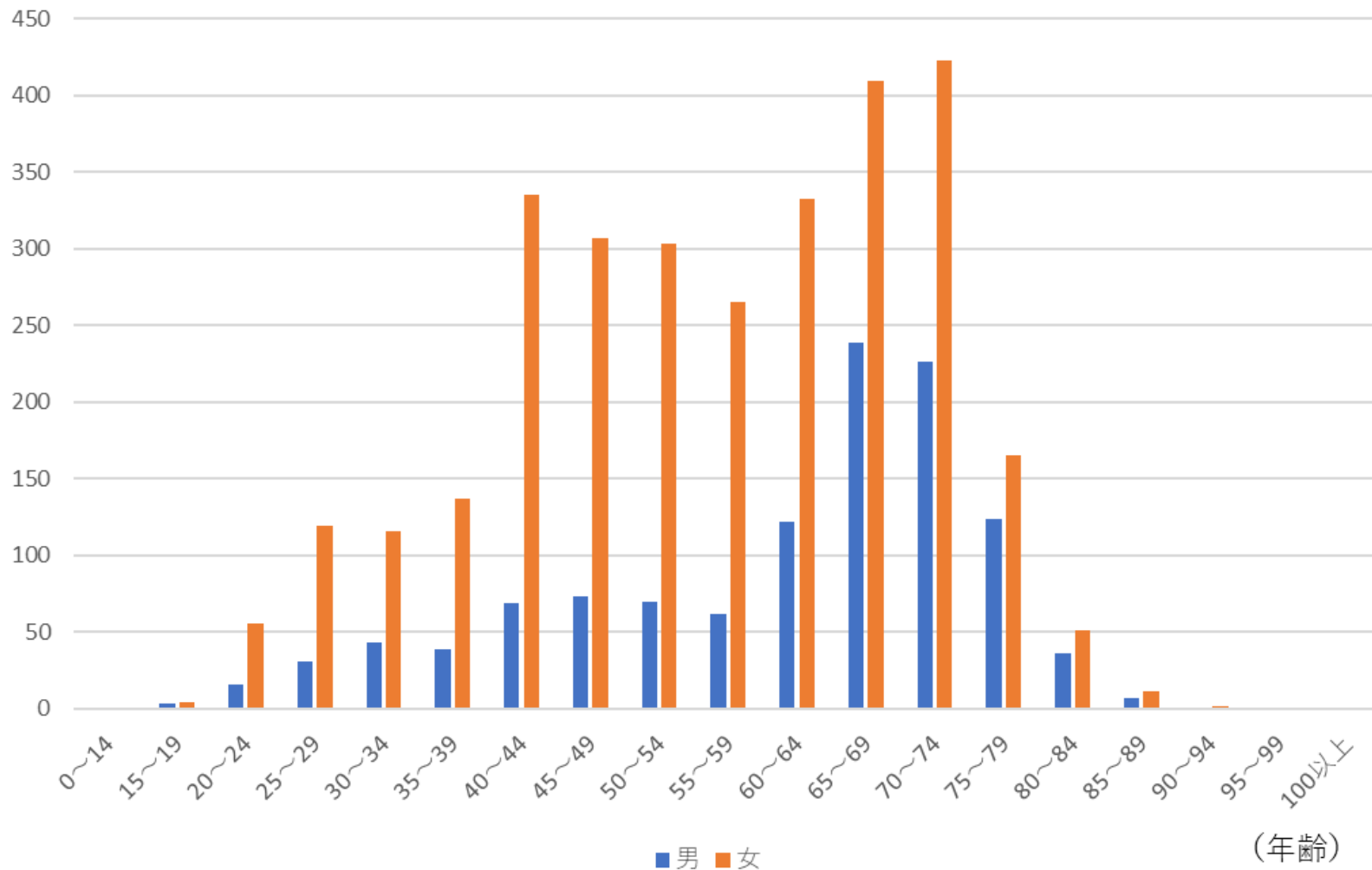
年齢区分（5歳ごと）による受診者数（2023年度）





静岡市静岡医師会健診センターの 年齢区分による受診者数(個人)

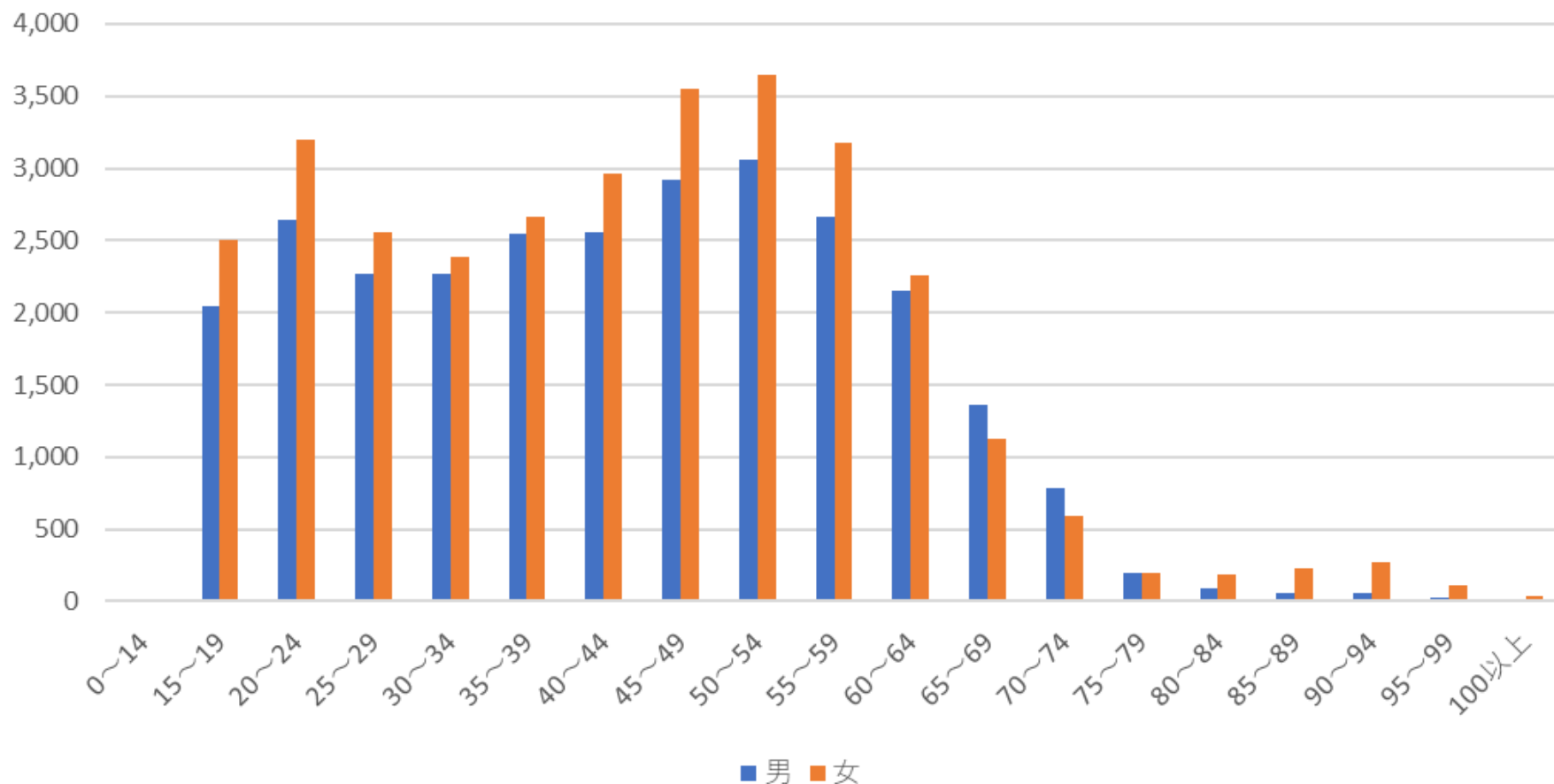
年齢区分(5歳ごと)による個人の受診者数(2023年度)





静岡市静岡医師会健診センターの 年齢区分による受診者数(団体)

年齢区分(5歳ごと)による団体の受診者数(2023年度)





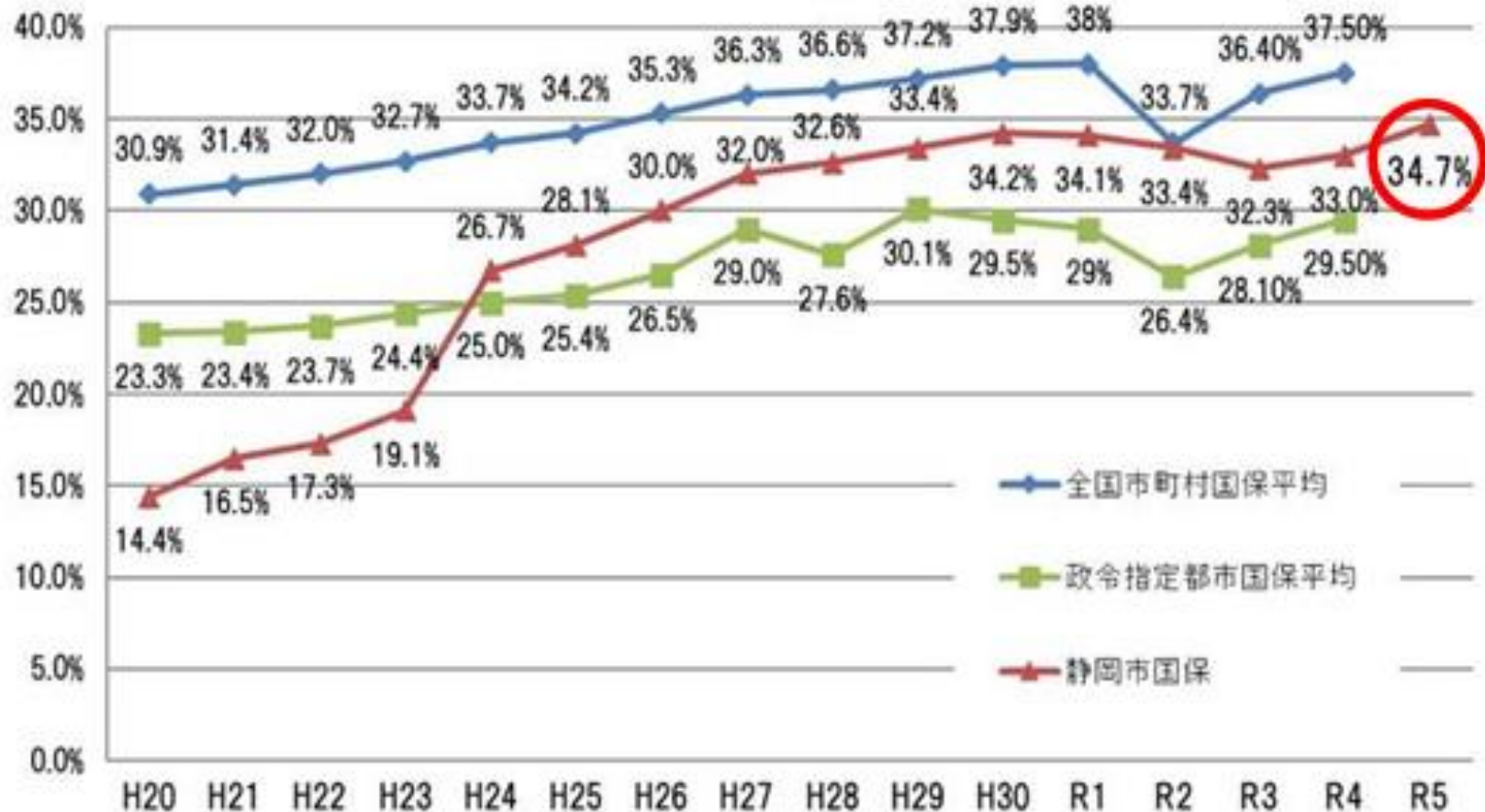
静岡市静岡医師会健診センターの 年齢区分による状況

- 当センターにおける年齢別受診者数は、60歳以降に大きく減少し、さらに5歳ごとにおおよそ半減している。
- これは、定年退職により企業での健診が終了し、退職後に個人で健診を受ける人が極めて少ないためと考えられる。

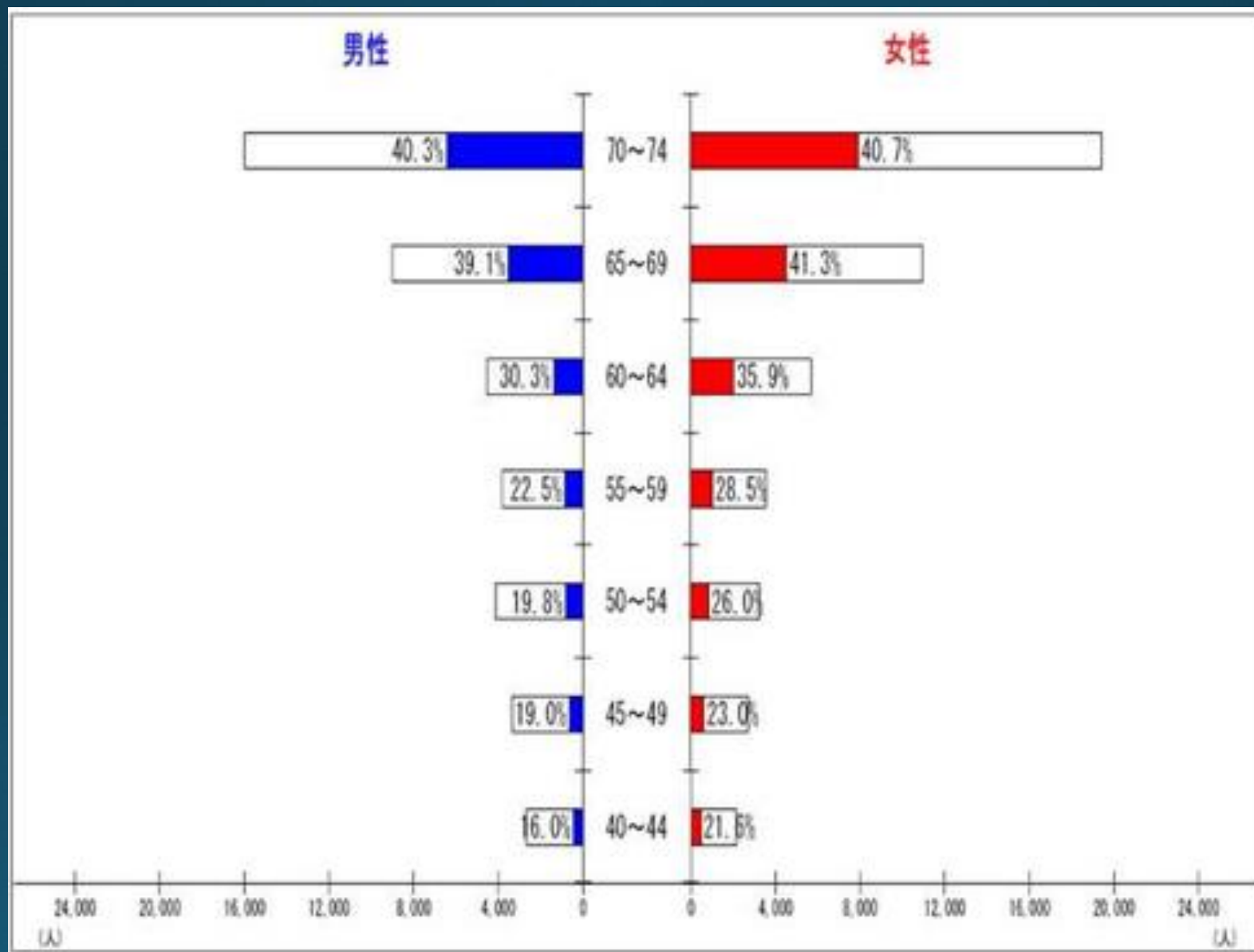


静岡市の特定健診受診率

特定健診受診率の推移(H20～R5)



静岡市の特定健診年齢別受診率(R5年)





静岡市内特定健診の年齢別受診状況

- 40～49歳：受診率が最も低く、特に40代前半は極めて低調
- 50～59歳：40代に続いて低く、特に50代前半も伸び悩み
- 60～69歳：受診率は大きく上昇
- 70～74歳：最も高い傾向



静岡市内特定健診の年齢別受診状況

- 静岡市における特定健診の受診率は、
60歳以降に上昇するが、それでも男女とも
40%程度にとどまっている。
- 特に、定年退職後に国民健康保険に移行した
人の受診率が低いことが課題として指摘されて
いる。



静岡市内特定健診の国保加入者の受診状況

・国民健康保険加入者の受診率は低め

国保（自営業・退職者・年金受給者等）における特定健診の受診率は約36%～49%と、会社勤めなどの健康保険組合（受診率55～80%程度）に比べ低い傾向

・静岡市の国保加入者では特定健診の受診率は30～60%台（年度により異なる）で推移しており、令和5年度には約57%となっています



静岡市内特定健診の国保加入者の受診状況

- ・退職後に会社の健診がなくなり、国保加入を機に特定健診を受ける人は増えている一方で、受診率自体は低いまま。

→ 全国平均:36.6%、国保組合で約49%、
静岡市国保で約57%。

- ・特に、**定年直後の移行期には受診が途切れやすく**、地域の案内・勧奨が非常に重要とされている。



2040年問題に向けた課題と 当センターの取り組み

- 2040年には、65歳以上の高齢者が全人口の35%に達し、生産年齢人口が大幅に減少すると予測されている。この「2040年問題」では、医療・介護サービスの需要が急増し、社会保障制度に大きな負担がかかるとされる。
- その対策の一つとして、「**健康寿命の延伸**」が重要な課題であり、健診センターに大きな役割が期待される。



2040年問題に向けた課題と 当センターの取り組み

- 健康寿命延伸には、**疾病の予防および早期発見・治療のために、継続的に健康診断を受けることが重要**である。
- しかし現状として、先述したように**高齢者の健診受診率は依然として低い**。
- その要因の一つとして、**定年退職後に健康診断を受け続けるという意識の低さ**が挙げられる。



中小企業に対するアンケート調査実施

- 退職後の健康管理に関する現状と課題を把握するため、中小企業に対しアンケート調査を実施した。
- 対象として、協会けんぽに加入しており、50歳以上の従業員が5名以上受診している静岡市内の304事業所に調査を依頼し、164事業所(回収率53.9%)から回答を得た。



中小企業に対するアンケート調査

定年後の健康診断に関するアンケート【回答用紙】

(ご回答は任意です)

1 貴事業所のおよその職員数（正規のみ）をお知らせください

(該当するものに✓)

☐ 1～20人 ☐ 21～50人 ☐ 51～100人 ☐ 101～500人 ☐ 500人以上

2 貴事業所では、定年後、再雇用・継続雇用されている方がいますか？

☐ いる → 「設問 3」へ

☐ いない → 「設問 4」へ

3 「再雇用・継続雇用されている方」に対して行っている健康管理の取り組みについてお伺いいたします（該当するものすべてに✓）

☐ 再雇用・継続雇用者向け健診の実施

☐ 人間ドックや脳ドックの受診補助

☐ 健康相談窓口の設置

☐ メンタルヘルスケアの情報提供

☐ 退職前教育・健康管理講習の実施

☐ 特に実施していない

☐ その他（具体的に：_____）

4 「完全に退職された方」に対して行っている健康管理の取り組みについてお伺いいたします（該当するものすべてに✓）

☐ OB向け健診の案内

☐ 人間ドックや脳ドックの受診補助

☐ 健康相談・情報提供

☐ 企業健保による退職者健診・特定保健指導

☐ 退職前教育・健康管理講習の実施

☐ 特に実施していない → 「設問 5」へ

☐ その他（具体的に：_____）

5 「完全に退職された方」に対して現在「健康管理の取り組み」を行っていない場合、今後、何らかの働きかけを行う可能性はありますか？

(該当するものに✓)

☐ ある → 「設問 6」へ

☐ ない

☐ わからない

6 「今後、働きかけを行う可能性がある」と回答された場合、どのような機関から、どのようなサポートが必要だとお考えですか？（自由記述）

(例 ・退職前教育・健康管理講習を実施するために健診センターの協力
・退職後健診実施のための助成制度 など)

7 当健診センターで、定年後の再雇用・継続雇用者および完全退職者に対して提供してほしいサービス・協力について、ご要望・ご意見があればご記入ください。

◆回答希望日：令和7年6月13日（金）

アンケートへのご協力、ありがとうございました。



アンケート調査結果

貴事業所のおよその職員数(正規のみ)をお知らせください

- 1 ～ 20 人 : 70 施設
- 21 ～ 50 人 : 58 施設
- 51 ～ 100 人 : 22 施設
- 101 ～ 500 人 : 13 施設
- 501 ～ 人 : 2 施設



アンケート調査結果

「再雇用・継続雇用されている方」に対して行っている健康管理の取り組みについて伺いいたします（該当するものすべてに✓）

- | | |
|---|----|
| • <input type="checkbox"/> 再雇用・継続雇用者向け健診の実施 | 96 |
| • <input type="checkbox"/> 人間ドックや脳ドックの受診補助 | 7 |
| • <input type="checkbox"/> 健康相談窓口の設置 | 5 |
| • <input type="checkbox"/> メンタルヘルスケアの情報提供 | 11 |
| • <input type="checkbox"/> 退職前教育・健康管理講習の実施 | 1 |
| • <input type="checkbox"/> 特に実施していない | 14 |
| • <input type="checkbox"/> その他（具体的に：_____） | 21 |



アンケート調査の結果

再雇用・継続雇用を実施している事業所は128事業所(78%)であった。

そのうち114事業所では毎年の健診を継続して実施していたが、14事業所は健診を実施していなかった。

また、一部の事業所では、人間ドック受診補助、健康相談窓口の設置、メンタルヘルスケア情報の提供などの取り組みも見られた。



アンケート調査結果

「完全に退職された方」に対して行っている健康管理の取り組みについて伺いいたします（該当するものすべてに✓）

- ☐ OB向け健診の案内 0
- ☐ 人間ドックや脳ドックの受診補助 0
- ☐ 健康相談・情報提供 0
- ☐ 企業健保による退職者健診・特定保健指導 0
- ☐ 退職前教育・健康管理講習の実施 0
- ☐ 特に実施していない 0
- ☐ その他（具体的に：_____） 0



アンケート調査の結果

- 予想されたことではあったが、完全退職者に対しては、回答された事業所全てにおいて、退職後の健康管理への取り組みが全くなされていない現状が明らかになった。



アンケートで頂いた意見

- 直接退職者に案内のハガキが届くと良い。
- 退職し個人で受ける時に健診センターからの案内や割引があると継続しやすい。
- 退職後、数年間健診の案内を送ってほしい。
- 退職者宛てに健診センターから健診の案内を郵送してほしい。
- 自己負担がいくらかかるかも明記して案内を郵送してもらおうと申し込みやすいと思う。
- 会社側が指名した人だけで良いので、健診の案内を郵送してほしい。



アンケートで頂いた意見

- 医療機関で退職者が健診を受けるように広報してほしい。
- 毎年協会けんぽから送られてくる受診予定リストに退職者も一定期間載せてほしい。
- 退職時に渡せる健診センターのパンフレット等があると良いです。
- 健診を継続して受ける必要性が分かる退職者向けのパンフレットがあると良い。
- 案内のチラシ等があれば利用したい。



アンケートで頂いた意見

- 退職後も協会けんぽ価格で検診を受けられたら良い。
- 完全退職者向けの助成制度があると良い。
- 退職者が健診を行うための行政機関による助成や案内が必要。
- 何らかの支援で半額免除を考えてほしい。
- 国保による検診を協会けんぽの内容同等に充実させる。



アンケートで頂いた意見

- 10年以上継続して健診を受けた人対象に割引等の特典を検討していただけると有難い。
- 過去の健診データをグラフ化するなどして、今後注意すべきポイント等を提案してほしい。
- 季節ごとの健康関連情報の提供。
- クーポン券があると良い。
- WEb上で退職者対し健診を啓発する文章を掲載すると良いのでは。
- 退職後、食事指導や健康相談が受けられる機会がほしい。



アンケートで頂いた意見

- 自己管理に委ねるしかありませんね。
- 退職者は国民健康保険で自分で受けるものと思っている。



2040年問題に向けた課題と 当センターの取り組み

- これらの結果を受け、当センターでは今後、退職者に対する啓発活動の強化が必要と考え、まずは退職時に配布可能な啓発文書や健診パンフレットの作成を進めることを検討している。
- 完全退職者に対し、退職後の健診の案内を行なうことが可能かどうか、また可能であれば伝達手段(郵送、電話、Fax、メール等)をどうするかも含めて検討していきたい。



2040年問題に向けた課題と 当センターの取り組み

- また、再雇用・継続雇用中でありながら健診を実施していない事業所も存在するため、再雇用後の健診を全事業所で継続出来る体制の整備も今後の課題と考える。



静岡市静岡医師会健診センターの 基本理念

「私たちは、やさしさと思いやりを持って
地域の皆様一人ひとりの
健康づくりを応援します。」

ご清聴ありがとうございました